



## 信じ、愛されていることが何よりのエネルギー源

10月27日(日)に「よつばフェスタ」が開催されました。PTA の役員の皆様を中心に、ボランティアで参加くださった保護者の方も含め、多くの方々の「子供たちに楽しんでほしい」という熱い思いが集結した、**美味しいものとわくわく**がいっぱいのフェスタになりました。

午後から体育館で開催された「よつフェスライブ」では、たくさんの子供たちが特技を披露しました。蝶六踊り、歌、ピアノ、ヴァイオリン、漫才、落語、サッカーやバドミントンの技、そしてダンス等々、様々なジャンルの出し物に会場は大盛り上がりでした。初めての試みでもあり、出場者は、きっと緊張したと思いますが、どの子も大勢の前でのびのびと発表している姿を見て、そして、会場から全ての出場者に向けて温かい声援と拍手が送られている様子を見て、胸がいっぱいになりました。今いる場所が安心の居場所でなかったら、あんなにも楽しそうに自分を表現できないと思います。発表を見守る家族、地域の方々、よつば小の仲間との信頼関係と愛情があつてこそです。

「自分は信じられている、愛されている」という思いが、人を動かすエネルギー源なのだと改めて感じました。



心のこもった手作りメニュー。  
ありがとうございました。

「よつフェスライブ」のフィナーレは、よつばっ子、卒業生、  
教員がステージ上に集まっての校歌大合唱！  
会場の一体感が高まりました。

### 校長のひとりごと

私は、相田みつをさんの「ただいだけで」という作品が好きで、若いころから心に留めています。

「あなたがそこにいるだけでみんなのところがやすらぐ そんなあなたにわたしもなりたい」といった内容なのですが、そうなりたいと思いながらも、簡単にそうなれるものではないとも感じています。しかも、なれたかどうかは自分が判断するものでもありません。

しかし、学校にいと、「ああ、この子と一緒にいると本当に元気がでるな。」「この子のさわやかな挨拶のお陰で、今日も笑顔で働くことができるな。心が穏やかになるな。」と感じる瞬間がたくさんあるのです。子供って本当に素敵です。だからこそ、毎日、元気に学校に来てくれることに感謝なのです。子供たちが何を感じ、何をしたいと望んでいるのか、何に困っていて、どう助けてほしいと願っているのか。耳と心を澄ませて、大切に寄り添っていきたいと思っています。

